

1 コロボックルの碑

貝塚稲荷旧石碑は大正元年（1912）に建立され、碑文の内容からコロボックルの碑とも呼ばれます。



2 護国寺建長4年板碑

板碑は鎌倉時代から戦国時代にかけて造立された供養塔の一種で、当板碑は建長4年（1252）に建てられた初期のものです。



3 ケヤキ

諏訪神社のケヤキは、推定樹齢500年で市内で最大級の大木です。



4 イチョウ

榛名神社のイチョウは、推定樹齢400年で、市内最大規模のイチョウのひとつです。



6 鶴馬諏訪神社獅子舞

その起源は不明ですが、里に疫病が流行り苦しんでいた折、太田道灌の配下が獅子舞を伝え、諏訪神社に奉納させたところ、疫病がおさまったという伝説が残っています。現在、8月28日の祭礼に奉納されています。



5 護国寺大型板碑

護国寺境内にある2基の大型板碑は市内最大のもので、その高さは約3mです。造立年代は定かではありませんが、鎌倉時代中期頃のものと考えられます。



8 カヤ

瑠璃光寺境内のカヤは推定樹齢500年で、県内でも稀なカヤの大樹です。現在、安全面を考慮し枝を伐採されていますが、幹の太さから大きさが伺えます。



9 鶴瀬駅開設の石碑

東上鉄道（現東武東上線）鶴瀬駅の誘致に尽力した地域の人々によって建てられた「鶴瀬駅之碑」と「鶴瀬停車場記念」からなる2基の石碑です。



7 勝瀬囃子

調子の良い勝瀬のお囃子は喧嘩囃子とも言われ、4月10日の榛名神社祭礼、8月28日の諏訪神社祭礼に奉納されます。



	名称	所在地	指定日
1	コロボックルの碑	富士見市山室 2-1064	昭和50年11月1日
2	護国寺建長4年板碑	富士見市大字勝瀬 723-1 護国寺境内	昭和50年11月1日
5	護国寺大型板碑		昭和58年6月20日
3	ケヤキ	富士見市諏訪 2-1589-1 諏訪神社境内	昭和58年6月20日
6	鶴馬諏訪神社獅子舞		平成元年1月10日
4	イチョウ	富士見市大字勝瀬 791-1 榛名神社境内	昭和58年6月20日
7	勝瀬囃子		平成元年1月10日
8	カヤ	富士見市諏訪 1-8-3 瑠璃光寺境内	平成4年2月17日
9	鶴瀬駅開設の石碑	鶴瀬駅東口駅前広場脇(鶴瀬駅東口土地区画整理8号緑地)	令和6年2月8日